

# 土で遊ぼう

時 期 夏

時 間 2時間

場 所 校庭

- 砂場や土の山などを使って、山や川、湖などを作る。
- 砂鉄やさらさらの砂、お気に入りの石などを集める。

## ねらい

- 親しむ** ・実際に土を触ったり土で遊んだりすることで、「土」「石」など自然素材への興味・関心を高め、豊かな感性を養う。

## 活動展開例 第1学年 生活 「しぜんとあそぼう」

準備物	・スコップ ・シャベル ・じょうろ ・ペットボトル ・ポリ袋 ・カップ ・磁石 ・ふるい ・タオル ・ビーチサンダル ・着替えや水着 (必要に応じて)		
	時間	活動内容	留意点
展 開	事前	○給食のカップを洗ってとっておく。 ○何をして遊びたいか考えておく。	・自分の活動に必要なものを考えさせ、自分で準備させる。
	10分	○活動内容、持ち物、約束を確認する。	・活動内容によっては、児童の服装(半ズボン、水着、ビーチサンダル)に配慮する。
	50分	○砂場や校庭の隅などで土を集めて遊ぶ。 または土のある場所へ行き、土で遊ぶ。 ・砂山づくり ・砂山くずし ・川、湖づくり ・迷路づくり ・穴掘り ・文字当てクイズ ・泥団子づくり ・泥投げ ・砂鉄集め ・さら砂づくり ・石並べ ・お気に入りの石見つけ(光る石、色の付いた石、平らな石、おもしろい形の石など)	・児童の状態を見て、適宜休憩をとるようにする。 ・土や砂、石などとの触れ合いを中心とするが、水、棒、草花なども組み合わせると、ダイナミックで豊かな活動になる。 ・多人数で遊べる活動については、全員で仕事を分担して取り組むのも楽しい。
	15分	○集めた物、できたものを見せ合う。	
	15分	○土を元に戻したり、使った道具やカップなどを片付けたりする。	・砂や土を元に戻したり、使った道具を適切に片付けたりするようにする。

低学年



活用ガイド

○遊び方の例

- ・砂場で川，湖，滝を作る。
- ・穴を掘って水をためる。足をうめる。
- ・砂山を作って，棒倒しやトンネル掘りをする。
- ・ぬれた砂山にかわいたさらさらの砂をかける。
- ・土に堅い棒やくぎなどで文字を書き，それを埋めて，書いた文字を当てっこする。
- ・お気に入りの石に名前をつける。
- ・石に色を塗ったり文字を書いたりする。
- ・カップで型をとり，並べる。

○活動の様子

わあ，手がつながったよ！



そおっとやさしく掘って，トンネル完成！  
お友達と掘ると，うれしさ2倍。



つめたい「足湯」でかきごおりを食べている・・・  
つもり。

ペットボトルを置いておけば，  
どんどん流れていくよ。



川作りから滝を思いついたよ。水と砂が，滝つぼ  
に落ちていくのが楽しい！



赤い石やつるつるの石，三角の石があり，ユニークな名前をつけて楽しんだ。

※第1学年国語「こんな石をみつけたよ」(光村図書)の学習の際に収集した石を活用した。

低学年



## ○ワンポイントアドバイス

- ・砂場がある場合には、そこを拠点に活動を組み立てるとよい。
- ・各自でペットボトルを準備しておく、水を使う際に便利である。
- ・砂鉄を収集するときには、ジップ式のポリ袋などに磁石を入れて行うとよい。
- ・プラスチック製のスコップ（大）を使用すると、けがの心配がなく安心である。
- ・一度に数種類の活動を実施するのは難しいので、1時間は砂場で遊び、1時間は砂鉄や石見つけをするというように分けてもよい。また、全部活動するのではなく、児童の実態や確保できる時間に応じて内容を選択して実施するとよい。

## ○実施した効果(活動を振り返って)

- ・砂場で活動したので、砂を使って山や川を作ったり穴を掘ってその中に足を入れて遊んだり、生き生きと活動できた。
- ・道具や材料が充分かどうか心配だったが、児童は、砂や石という自然素材の特徴を生かし、喜んで活動していた。
- ・児童が書いた活動の記録には、「すなを てにかけたのが、たのしかったです。」「みずを やまのはんぶんにかけて、しろくろのやまができました。」「ちっちゃいきらきらのいしがありました。」「うみをつくってはいったら、つめたかったです。」「つちは、なんでもつくれるとおもいました。」などの記述があった。土に関して、さまざまな発見や感動が期待できる活動である。

## ○他教科、領域等での活用

- ・第1学年 図画工作「しぜんとなかよし」

## ○発展

- ・穴を掘ったとき、表面の土と奥の土の手触りや温度の違いに気付かせていきたい。
- ・場所や深さによって土の感触（さらさら、粘土質）や土の色が違うことに気付くことや、水を含ませることで感触が変わったり固まったりすることにも気付かせると活動が深まる。

## ○保護者への啓発や広報

- ・夏休み前に活動を実施し、学年だよりなどで保護者に活動の様子を知らせて、夏休みにも土を使った活動を奨励するとよい。

## ○活動にあたって参考となる文献

- ・中村 真一郎 「土の絵本〈1〉土とあそぼう」 日本土壤肥料学会（2002）
- ・佐々木 達行 「土を素材とした学習－図工科・造形遊びからの展開」  
筑波大学附属小学校「授業公開シリーズ」（1990）

低学年



# つち 土であそぼう

ねん くみ ばん なまえ

☆ やってみたいことは どんなことかな？  
えや ことばで かいてみよう。

☆ つかう どうぐやざいりょうは なにかな？


☆ ぜんいんが もってくる もの


☆ つち  
土あそびを やるひ  
がつ 日にち ( )

◇ このひまでに おうちのひとと  
よういを しましょう。

低学年

